

令和 6 年度における鳥取県への移住者数

県では、各市町村、ふるさと鳥取県定住機構等からの情報を集計し、鳥取県への移住者数について、毎年調査を実施しています。

このたび、令和 6 年度の移住者数調査の結果を取りまとめましたので、下記のとおり公表します。

記

1 本県への移住状況

- ・令和 6 年度の本県への年間移住者は 1,784 世帯 2,393 人（対前年+32 人） となり、過去最多だった令和 3 年度（1,665 世帯、2,368 人） を上回った。
- ・令和 6 年度は I ターン者の割合は過去最多であり、例年同様に 40 代以下が全体の約 8 割を占めた。
→本年 1 月発表の「住みたい田舎ベストランキング」（宝島社『田舎暮らしの本』）や本年 6 月発表の「住みよさランキング 2025」（東洋経済新報社）において、複数の県内自治体が上位にランクインするなど、本県の豊かな自然環境や各自治体における暮らし・子育て支援策が、他県出身者（I ターン者）からも評価されている。
→また、本県への移住相談件数や移住検討者来県交通費助成件数も増加傾向にあり、本県への移住に対する関心の高まりが窺える。
- ・引き続き、移住先としての鳥取県の魅力発信に努めるとともに、7 月 8 日（火）に開催する「とっとり若者 U ターン・定住戦略本部」において若者の U ターンや定住に向けた若者目線の施策を実行し、目標である年間移住者 3,000 人の達成に向け、更なる移住定住の促進に取り組んでいきます。

2 移住者数の推移

	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
上半期	984 人	856 人	919 人	946 人	1,002 人	1,054 人 (上半期過去最多)
下半期	1,185 人	1,280 人	1,449 人	1,157 人	1,359 人	1,339 人
年 間	2,169 人	2,136 人	2,368 人	2,103 人	2,361 人	2,393 人 (過去最多)

○目標値…年間移住者数 3,000 人（「輝く鳥取創造総合戦略」（R6～R10）における KPI）

3 I ターン・U ターン別の移住者数、割合

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
I ターン	974 人 (48.8%)	1,037 人 (50.4%)	1,191 人 (52.2%)	1,027 人 (51.8%)	1,203 人 (52.7%)	1,161 人 (53.3%)
U ターン	1,022 人 (51.2%)	1,021 人 (49.6%)	1,091 人 (47.8%)	956 人 (48.2%)	1,079 人 (47.3%)	1,019 人 (46.7%)

(参考:40 代以下の人数、割合)

区分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
I ターン	805 人(49.8%)	817 人(50.1%)	964 人(55.1%)	634 人(52.7%)	944 人(56.0%)	888 人(55.7%)
U ターン	811 人(50.2%)	815 人(49.9%)	787 人(44.9%)	568 人(47.3%)	742 人(44.0%)	706 人(44.3%)

4 市町村別の移住者数

(単位:人)

市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数
鳥取市	508 (471)	若桜町	19 (25)	琴浦町	149 (190)	伯耆町	30 (37)
米子市	558 (504)	智頭町	13 (31)	北栄町	64 (86)	日南町	32 (33)
倉吉市	353 (277)	八頭町	48 (52)	日吉津村	23 (20)	日野町	31 (29)
境港市	184 (210)	三朝町	49 (67)	大山町	25 (46)	江府町	28 (19)
岩美町	90 (84)	湯梨浜町	108 (96)	南部町	81 (84)	合計	2,393 (2361)

※括弧内の数字は前年度の移住者数

5 移住世帯の属性

(1) 年代

・40代以下の世帯が全体の約8割(78.5%)を占める。

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
世帯数	720世帯	345世帯	216世帯	138世帯	113世帯	100世帯	1,632世帯
平均世帯員数	1.14人	1.59人	1.79人	1.35人	1.36人	1.23人	1.34人
構成比	44.1%	21.1%	13.3%	8.5%	6.9%	6.1%	100%

※年代不明の世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

(2) 移住理由

・50代までの各年代で「就職」が最も多いが、30代は「就職」に次いで「結婚・子育て」が多い。

・60代以上は「田舎暮らし」「退職等による帰郷」が最も多くなっている。

	全体		～20代		30代		40代		50代		60代		70代～	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
農林水産業	23	1.6%	4	0.6%	8	2.5%	6	3.2%	5	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業等への就職	649	44.0%	376	57.7%	138	43.9%	73	38.6%	44	34.9%	14	13.3%	4	4.5%
起業	17	1.2%	0	0.0%	4	1.3%	9	4.8%	3	2.4%	1	1.0%	0	0.0%
結婚・子育て	135	9.2%	64	9.8%	46	14.6%	19	10.1%	4	3.2%	1	1.0%	1	1.1%
介護	49	3.3%	3	0.5%	4	1.3%	3	1.6%	10	7.9%	16	15.2%	13	14.8%
田舎暮らしを志向	134	9.1%	23	3.5%	29	9.2%	20	10.6%	12	9.5%	24	22.9%	26	29.5%
退職・卒業等による 帰郷	200	13.6%	101	15.5%	29	9.2%	23	12.2%	12	9.5%	20	19.0%	15	17.0%
その他	267	18.1%	81	12.4%	56	17.8%	36	19.0%	36	28.6%	29	27.6%	29	33.0%
計	1474	100%	652	100%	314	100%	189	100%	126	100%	105	100%	88	100%

※移住理由が不明な世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。

(3) 移住元地域

・移住元地域は、近畿地方、中国地方、関東地方の順に多くなっている。

・国外からの移住者が増加傾向にある。

(単位:世帯)

地域 年度	北海道 東北	関東	うち東京圏※	中部	近畿	中国	四国	九州	国外	合計
R元	36	290	272	91	521	453	46	81	56	1,558
R2	32	333	309	118	484	440	62	73	25	1,542
R3	32	338	319	109	538	474	51	84	34	1,660
R4	48	295	270	98	489	406	37	68	71	1,512
R5	45	350	325	101	499	458	52	79	80	1,664
R6	41	325	299	117	500	456	57	83	109	1,688

※東京圏…埼玉・千葉・東京・神奈川

※移住元地域が不明な世帯があることから、合計は移住世帯の全体数とは一致しない。